

『全国学力・学習状況調査の結果』についてのお知らせ

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、6年生を対象に行われました標記調査につきまして、本校の結果の概要等がまとめましたので、お知らせいたします。今回の調査において、本校と全国の平均回答率とを比較し、浮かび上がった課題について改善点を考察しました。この結果を受け止め、学校全体で日常の授業改善に生かして参ります。なお、諸調査により測定できるのは学力の一部分であり、学校における教育活動の一侧面であることをご承知おきください。

【教科に関する調査の結果と分析】

〔国語〕

前田中央小学校の概要

- ◆「話すこと・聞くこと」
 - ・下回っている。
- ◆「書くこと」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。
- ◆「読むこと」
 - ・下回っている。
- ◆「言葉の特徴や使い方に関する事項」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。

今回の調査における課題

- 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。
- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること。

改善の方向

- 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する指導の充実。
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う指導の充実。
- 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する指導の充実。

〔算数〕

前田中央小学校の概要

- ◆「数と計算」
 - ・下回っている。
- ◆「図形」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。
- ◆「測定・変化と関係」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。
- ◆「データと活用」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。

今回の調査における課題

- 分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つかを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみること。
- 異分母の分数の加法の計算をすることができるかどうかをみること。
- 数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つかとして捉えることができるかどうかをみること。

改善の方向

- 加法では、基にする数の個数を足しているということを理解できるようにする指導の充実。
- 異分母の分数の加法について単位分数のいくつ分の考え方を使えるようにする指導の充実。
- 加法の計算をするためには、基にする数をそろえる必要があることを理解できるようにする指導の充実。

(理 科)

前田中央小学校の概要

◆「エネルギー」

・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。

◆「粒子」

・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。

◆「生命」

・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。

◆「地球」

・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。

今回の調査における課題

- 電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現することができるかどうかをみること。
- 発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現することができるかどうかをみること。
- レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見いだし、表現することができるかどうかをみること。

改善の方向

- 考えたことを科学的な言葉を使用して表現する活動の充実。
- 差異点や共通点を基に、具体的な条件に着目し、問題を見いだすことができるような取組の充実。
- 観察、実験の結果を基に、問題に正対した自分の考えを表現する指導の充実。

【6年生質問紙調査より】

「学習」や「生活の様子」などの質問に答えたものです。今後の教育活動において、学校とご家庭とで連携して育んでいきたい項目、さらに強化していきたい項目、全国平均と比較して特徴的な項目についてお知らせします。

【 基本的な生活習慣等 】 に関する質問	回答 (本校)	(全国平均)
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	当てはまる	44% 39%
朝食を毎日食べていますか	当てはまる	82% 83%
【 自己有用感・目標】に関する質問	回答 (本校)	(全国平均)
自分には、よいところがあると思いますか	どちらかといえば当てはまる	85% 87%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	当てはまる	64% 74%
将来の夢や目標をもっていますか	当てはまる	53% 61%
【 学習・学級活動】に関する質問	回答 (本校)	(全国平均)
分からぬことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	できている	15% 33%
普段(平日)、1日当たりどれくらいの時間勉強をしていますか (塾・家庭教師等を含む)	30分未満	36% 18%
学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができているか	当てはまる	21% 41%

【基本的な生活習慣等】

昨年度までは、睡眠時間の少なさが本校の課題でした。ぐっすりデーなどの取組を進めているところですが、その成果が表れてきています。しっかり睡眠時間を確保することでパフォーマンスが高まることは周知のことですが、これからもよい睡眠をすることができる環境づくりをしていきます。

【自己有用感・目標】

自己肯定感の項目が全国平均とほぼ同じになりました。自分の良さを感じられ、そこから自己有用感の高まりが期待できると思います。まずは自分に自信をもって、学んだり生活したりできる環境を構築していきます。

【学習・学級活動】

学習時間の少なさはとても気になるところです。学んだことを定着させるためには、学んだことを繰り返し練習することが必要です。そのためには家庭での学習は、なくてはならないことですし、そこで差が生まれます。また、AIと共に存する時代を生き抜く子どもたちに必要な「自分で考える力」を身に付けさせるために今年度から「マイプランナー」の取組を強化しているところです。